2025年度 全学アクションプラン

分类	a	主要課題	最終	担当理事等		関係会議等			5カ年の年次推進計画		
万男	視	工女际飓	目標値	(◎: 主担当)	(◎: 主担当)	因常立藏守	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	1. 建学の精神	・「東洋の精神による人格の陶 冶」、「己ヲ修メ、人ヲ治 メ、一世に有用ナル人材ヲ 養成ス」、この建学の精神 を学内・学外に浸透させる		◎五十嵐常任理事 佐藤常任理事(学長) 鵜飼理事(附属校長) 七五三理事(柏校長) 菅原理事(事務局長)	総務・人事課 ⑤広報課 入試課 ⑥教務課 図書課 附属高校事務室	・広報運営委員会	・新カリキュラムでの自校教育継続 実施と評価・検証 ・新たな浸透策の実施効果の把握 ・150周年記念事業での建学の精神の 浸透策を検討	・新カリキュラムでの自校教育継続 実施と評価・検証 ・新たな浸透策の実施効果の把握 ・150周年記念事業での建学の精神の 浸透策を検討	・新カリキュラムでの自校教育継続 実施と評価・検証 ・新たな浸透策の実施効果の把握 ・150周年記念事業での建学の精神の 浸透策を検討	・新カリキュラムでの自校教育継続 実施と評価・検証 ・新たな浸透策の実施効果の把握 ・150周年記念事業での建学の精神の 浸透策を検討	・新カリキュラムでの自校教育継続 実施と評価・検証 ・新たな浸透策の実施効果の把握 ・150周年記念事業での建学の精神の 浸透策を検討
		KPI 認知度	125. 0				105. 0	110. 0	115. 0	120. 0	125. 0
	2. 二松学舎 憲章	・二松学舎憲章の普及		◎五十嵐常任理事	総務・人事課 ◎広報課 ◎大学改革・IR推進課	・広報運営委員会	・中間評価の内容検証と新周知活動 計画の立案・実施 ・新たな周知施策の実施効果を調査	・150周年に向けた浸透策の実施 ・新たな周知施策の実施効果を検証	・151周年に向けた浸透策の実施 ・新たな周知施策の実施効果を検証	・新たな周知施策の実施効果を検証	・新たな周知施策の実施効果を検証
建学の精神と		KPI 認知度	125. 0				105. 0	110. 0	115. 0	120. 0	125. 0
	3	・二松学舎150年史の編纂・発行		◎五十嵐常任理事 菅原理事(事務局長) 高栁理事	総務・人事課 ◎広報課 ◎図書課	• 150年史編纂 委員会	・150周年史編纂計画大綱に基づき、 編纂継続	・150周年史編纂計画大綱に基づき、 編纂継続	· 150周年史発行		
	二松学舎史	KPI									
	編纂事業と 周年事業	・創立150周年記念事業の実施		◎五十嵐常任理事 菅原理事(事務局長) 高柳理事	◎総務・人事課 広報課 ◎企画・財務課	・150周年記念事業 準備委員会	・創立150周年記念事業準備委員会の 立ち上げ ・主要「周年記念事業」の選定	・創立150周年記念事業の実現に向けた諸準備の実施	・創立150周年記念事業の実現	・創立150周年記念事業のフォローアップ	・創立150周年記念事業のフォローアップ
		KPI									
		- 21世紀型教育体制の構築		②佐藤理事 (学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) 押野副学長 五月女学部長 山口野研究科長 堀野研究科長 飯田研究科長	◎大学改革・IR推進課◎教務課企画・財務課	・ 中学 では ・ 中学 では ・ では	・文学部歴史文化学科完成年度の 評価の検証 ・カリキュラムの実態調査の実施・ 検証 ・(必要に応じて)各種申請実施	・カリキュラムの実態調査の実施・ 検証 ・(必要に応じて)教育組織の一部 改編実施	・カリキュラムの実態調査の実施・ 検証 ・(必要に応じて)教育組織の一部 改編実施	・(必要に応じて)教育組織の一部改編 実施	・(必要に応じて)教育組織の一部改編 実施
		①学生支援度	65. 0				59	60	61	62	62
	1. 大学の フレーム	KPI ②教育成果可視化度合	2017年度比 文257.1% 政243.8%				2017年度比 文:257. 1% 政:243. 8%	2017年度比 文:257. 1% 政:243. 8%	2017年度比 文:257. 1% 政:243. 8%	2017年度比 文:257. 1% 政:243. 8%	2017年度比 文:257.1% 政:243.8%
		③志願者倍率	5. 5倍				(文・政)5.4	(文・政)5.5	(文・政)5.6	(文・政)5.7	(文・政)5.7
		・学部再編等による特定成長 分野への転換支援に係る 検討		◎佐藤常任理事(学長) 江藤理事(学部長) 押野副学長 五月女学部長 須藤学務局長	◎企画・財務課◎大学改革・IR推進課	· 学部学科改編 企画会議	・学部学科改編企画会議による検討 ・他大学事例の調査 ・検討結果に基づく助成スキームへの 申請	・学部学科改編企画会議による検討 ・大学・高専機能強化支援事業 フェーズ1 (検討・準備期間)	・学部学科改編企画会議による検討 ・大学・高専機能強化支援事業 フェーズ1 (検討・準備期間) ・各種事前調査の実施 ・新学部学生募集広報の検討	· 新学部開設前年度準備(目標)	・新学部開設(目標)
		KPI									
Ⅱ. 二松学舎大 学・大学院の 教育改革		・次世代型新カリキュラムの 編成		②佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) 押野副学長 五月女学部長 須藤学務局長	大学改革・IR推進課 ⑤教務課	・学部学会議 学会運審議 ・大学学務委会 ・大学学務委会 ・教教長	・カリキュラムの運用と検証 (導入4年目=完成)	・カリキュラムの修正または 新カリキュラムの導入検討	・新カリキュラムの導入	・新カリキュラムの修正	・新カリキュラムの修正
		KPI ①教育成果可視化 度合	2017年度比 文257.1% 政243.8%				2017年度比 文:257. 1% 政:243. 8%	2017年度比 文:257. 1% 政:243. 8%	2017年度比 文:257. 1% 政:243. 8%	2017年度比 文:257. 1% 政:243. 8%	2017年度比 文:257. 1% 政:243. 8%
	2. 大学のマネ ジメント	・開講科目数の適正化		◎佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) 押野副学長 五月女学部長 須藤学務局長	◎教務課	理事会事会常日会事会政学学会大学会会大教授会	・適正なコマ数によるカリキュラム 運用・検証	・カリキュラムの修正または新カリ キュラムの導入検討に併せた適正 コマ数の検証	・新カリキュラムの導入後における 開講科目数適正化の調査及び検証	・新カリキュラムの経過に伴う開講 科目数の検証	・新カリキュラムの経過に伴う開講科目数の検証
		KPI									
		・教育、研究環境整備		◎佐藤常任理事(学長) 押野副学長 小山図書館長	○大学改革・IR推進課○教務課○図書課○情報システム管理室	・大学運営会議 ・大学審議会 ・全学教員協議会 ・自己点検評価運営 委員会等	・ICT環境充実度の検証及び新たな 環境整備の検討 ・教育研究支援のためのIR活動を推進 ・学生用端末機BYOD化	・ICT環境充実度の検証及び新たな環境整備の検討 ・教育研究支援のためのIR活動を推進 ・学生用端末機BYOD化の効果検証 ・ラーニング・コモンズの設備について検討 ・ラーニング・コモンズ利用向上策の実施	・ICT環境充実度の検証及び新たな環境整備の検討 ・教育研究支援のためのIR活動を推進 ・学生用端末機BYOD化の効果検証 ・ラーニング・コモンズの設備について検討	・1CT環境充実度の検証及び新たな環境整備の検討 ・教育研究支援のためのIR活動を推進 ・学生用端末機BYOD化の効果検証 ・ラーニング・コモンバの設備について検討	・ICT環境充実度の検証及び新たな環境整備の検討 ・教育研究支援のためのIR活動を推進 ・学生用端末機BYOD化の効果検証 ・ラーニング・コモンス・の設備について検討
		①学生支援度	70. 0				65	66	67	68	70
		KPI ②DP達成度	2017年度比 文:150.5% 政:131.8%				2017年度比 文:135.5% 政:122.0%	文:141.0%	2017年度比 文:146.0% 政:128.5%	2017年度比 文:150.5% 政:131.8%	2017年度比 文:150. 5% 政:131. 8%

分	ie	主要課題	最終	担当理事等	推進部課 (◎: 主担当)	関係会議等			5カ年の年次推進計画		
<i>7</i> 1	KQ.	工安际超	目標値	(②: 主担当)		兴 际太磯寺	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	2. 大学のマネ ジメント	・教学ガバナンスの確立		◎佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) 押野副学長 五月女学部長	◎大学改革・IR推進課 ◎教務課		・新ガバナンス体制の検証と継続的な見直し	・新ガバナンス体制の検証と継続的な見直し	・新ガバナンス体制の検証と継続的な見直し	・新ガバナンス体制の検証と継続的な見直し ・これまでの本学のガバナンス体制の 検証	・新ガバナンス体制の検証と継続的な 見直し ・これまでの本学のガバナンス体制の 検証
		・FD活動の見直し、体系化		◎佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) 押野副学長 五月女学部長	◎大学改革・IR推進課 教務課	・自己点検評価実施 委員会 ・専攻主任会議	・新FD計画の継続実施 ・web授業アンケートの更なる活用 ・シラバス記載内容に係るFDの継続 ・ディーチングポートフォリオの導入 (4年目) ・TA研修制度の充実 ・ラーニング・コモンズの利用促進等 に伴うアクティブラーニング導入 授業の拡大	 新FD計画の継続実施 web授業アンケートの更なる活用 シラバス記載内容に係るFDの継続実施 ティーチングポートフォリオの導入(5年目) TA研修制度の充実 ラーニング・コモンズの利用促進等に伴うアクティブラーニング導入授業の拡大 	 新FD計画の継続実施 web授業アンケートの更なる活用 シラバス記載内容に係るFDの継続実施 ティーチングポートフォリオの導入(6年目) TA研修制度の充実 ラーニング・コモンズの利用促進等に伴うアクティブラーニング導入授業の拡大 研究倫理に関するFDの実施 	 新FD計画の継続実施 web授業アンケートの更なる活用 シラバス記載内容に係るFDの継続実施 ティーチングポートフォリオの導入(7年目) TA研修制度の充実 ラーニング・コモンズの利用促進等に伴うアクティブラーニング導入授業の拡大 	・新FD計画の継続実施 ・web授業アンケートの更なる活用 ・シラバス記載内容に係るFDの継続 実施 ・ティーチングポートフォリオの導入 (8年目) ・TA研修制度の充実 ・ラーニングの利用促進等 に伴うアクティブラーニング導入 授業の拡大
		KPI FD研修会参加率	100%				100%	100%	100%	100%	100%
		・第4期認証評価への対応		◎佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) 押野副学長 五月女学部長	◎大学改革・IR推進課	・大学運営会議 ・自己点検評価実施 委員会	・改善策に基づいた課題改善の継続 実施・第4期認証評価機関の選定開始・自己点検・評価体制への学生代表 参加の継続実施	・改善策に基づいた課題改善の継続 実施・第4期認証評価準備・点検・自己点検・評価体制への学生代表 参加の継続実施	・改善策に基づいた課題改善の継続 実施 ・第4期認証評価受審 ・自己点検・評価体制への学生代表 参加の継続実施	・認証評価結果を受けた課題改善策の 策定 (自己点検評価の枠組みの検証含む) ・第4期認証評価受審	 ・認証評価結果を受けた課題改善策の 実施 (自己点検評価の枠組みの検証含む) ・第4期認証評価受審
.		KPI									
		・私立大学等改革総合 支援事業への対応		◎佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) 五月女学部長 須藤学務局長	◎大学改革・IR推進課	・大学運営会議 ・自己点検評価実施 委員会	・改革体制の運用 ・全学的な取り組み環境の構築 (複数タイプへの申請)	・改革体制の運用 ・全学的な取り組み環境の構築 (複数タイプへの申請)	・改革体制の運用 ・全学的な取り組み環境の構築 (複数タイプへの申請)	・改革体制の運用 ・全学的な取り組み環境の構築 (複数タイプへの申請)	・改革体制の運用 ・全学的な取り組み環境の構築 (複数タイプへの申請)
. .		KPI ①私立大学等改革	タイプ1&3								
II. 二、松学舎大 学学院の 教育改革		・教学DXの推進	の採択	②佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) 武山理事 五月女学部長 須藤学務局長	◎教学DX推進室	・理事会 ・常任理事会 ・大学運営会議 ・大学審議会 ・教学DX委員会	 ・教学DX化に関する各種素案の検討・ 作成 ・教育DXに関する情報収集 ・次期基盤システムの完全導入開始 ・LMSの利用促進、課題確認 	・教学DX化に関する各種原案の実行 (ワークフローシステムの導入) ・教育DXに関する情報収集 ・次期基盤システム及びLMSのDX化に 必要なカスタマイズ要件の確定 (学修成果の可視化関係カスタマイ ズその1)	・教学DX化に関する各種原案の実行 (ワークフローシステムの検証・調整) ・教育DXに関する情報収集 ・次期基盤システム及びLMSのDX化に必要なカスタマイズ要件の確定 (学修成果の可視化関係カスタマイズその2) ・可視化に関するAI活用の情報収集等	・教学DX化の初期段階整備完了 ・DX化の課題点等の検証 ・教学DX推進体制の検討 ・可視化に関するAI活用の可能性検討	・教学DX化の初期段階整備完了 ・DX化の課題点等の検証 ・教学DX推進体制の検討 ・可視化に関するAI活用の可能性検討
i		KPI									
		・自校教育の導入・充実		佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) ②押野副学長 五月女学部長	大学改革・IR推進課 ⑤教務課 学生支援課	・大学運営会議 ・教授会 ・全学教務委員会 ・教務委員会	・「二松学舎入門」の新教材に関する 効果検証(全学教務委員会等)	・新カリキュラムでの自校教育の 充実に関する検討	・新カリキュラムの導入	・新カリキュラムの修正	・新カリキュラムの修正
		KPI 当該科目平均GPA	2. 5				2. 44	2. 46	2. 48	2. 5	2. 5
	3. 大学の教育 改革	・アセスメントプランに基づく アセスメントの実施と成績 評価制度の見直し		◎佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) 押野副学長 五月女学部長 須藤学務局長	◎大学改革・IR推進課 ◎教務課	・大学運営会議 ・教授会 ・全学教務委員会 ・教務委員会	・アセスメントプランに係るFDの 検討・実施 ・アセスメントプランに基づく学修 成果の検証 ・GPAの利用範囲拡大について具体的 な検討	・カリキュラム修正又は新カリキュ ラム導入による新制度検討	・新カリキュラム導入による新制度 検討	・新制度検証	・新制度検証
.		KPI									
		・学生満足度の向上		佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) ②押野副学長 五月女学部長 須藤学務局長	◎大学改革・IR推進課 ◎学生支援課	・全学学生委員会 ・学生委員会	・学生満足度調査の長期傾向分折と 対策案の策定 ・学生サービス及び施設・設備の改善 計画の実施・検証 ・学生の居場所つくりの取り組み 「学生ひろば(仮)」の試験運用 (退学者減少とリンク)	・学生満足度調査の長期傾向分折と 対策案の策定 ・学生サービス及び施設・設備の改善 計画の実施・検証	・学生満足度調査の長期傾向分折と 対策案の策定 ・学生サービス及び施設・設備の改善 計画の実施・検証	・学生満足度調査の長期傾向分折と 対策案の策定 ・学生サービス及び施設・設備の改善 計画の実施・検証	・学生満足度調査の長期傾向分折と 対策案の策定 ・学生サービス及び施設・設備の改善 計画の実施・検証
		①学生支援度 KPI ②DP達成度	70.0 2017年度比 文:150.5% 政:131.8%				65 2017年度比 文:135.5% 政:122.0%	66 2017年度比 文:141.0% 政:125.5%	2017年度比 文:146.0%	文: 150.5%	2017年度比 文:150.5%

			最終	担当理事等	推進部課				5カ年の年次推進計画		
分	頃	主要課題	目標値	(◎: 主担当)	(②: 主担当)	関係会議等	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
		・グローバル化の推進		佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) ②押野副学長 五月藤学部長 須蓮センター長	教務課 ⊚国際交流センター	・国際交流委員会 ・全学教務委員会 ・教務委員会	・国際的評価の高い海外協定校との 連携強化な流の維定の構築に ・新ない流の維定の構築に ・検討性の ・高に ・海球の ・高に ・高に ・高に ・高に ・高に ・高に ・高に ・高に ・高に ・高に	・本学初となる新たな国の海外教育 機関となる新たな国の海外教育 でのの協定を無と、新言語圏での研修と表している。 一、高度を対している。 一、高度な外すする。 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	・国際的評価の高い海外教育機関との高度な評価の高い海外教和組学支援制度なが修実施とグリー・高度を経過である。 ままでは、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点	・世界大学ランキング上位にある海外教育機関(英元の高度な学化)へのの中、施施・経験の実施・経験の実施・経験の実施・経験を発展を対した。 一個	・極財と ・極関と ・極関と ・極関と ・を ・の高度な外域 ・を ・を ・を ・を ・を ・を ・を ・を ・を ・を
		①海外協定校数	40校				41	41	41	41	42
		KPI ②日本人学生留学率	5. 00%				1. 41%	1. 83%	2. 18%	2. 58%	3.00%
		③外国人留学生在籍率	5. 00%				6. 00%	6. 00%	6. 00%		6. 00%
		・体系的キャリア教育の 導入・実施		佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) 高押野副学長 五月女学部長 須藤学務局長 小久保センター長	◎教務課◎キャリアセンター	・キャリアセンター 会議 ・全学教務委員会 ・教務委員会	・新カリキュラムにおけるキャリア 教育の成果・課題確認 ・卒業生現況調査の継続実施、分析 ・次世代型キャリア教育具体案に 基づくインターンシップ学生派遣先 企業の検討	・新カリキュラムにおけるキャリア 科目の改善点の検証 ・卒業生現況調査の継続実施、分析 ・IS等派遣先企業と教育プログ弘確認	・新カリキュラムの検証・修正 ・卒業生現況調査の継続実施、分析 ・IS等派遣先企業と学生の教育効果に 関する意見交換と効果測定	・新カリキュラムの検証・修正 ・卒業生現況調査の継続実施、分析 ・IS等派遣先企業と学生の教育効果に 関する意見交換と効果測定	・新カリキュラムの検証・修正 ・卒業生現況調査の継続実施、分析 ・IS等派遣先企業と学生の教育効果に 関する意見交換と効果測定
		①就職率	文96.0% 政96.5%				(文・政) 95.6%	(文・政)95.7%	(文・政)95.8%	(文・政) 95.9%	(文・政) 95.9%
		KPI ②公務員就職者数	35名				33名	33名	33名	33名	33名
		③上場企業就職率	20. 0%				20. 00%	20. 00%	20.00%	20.00%	20. 00%
II. 二松学舎大 学・大学院の 教育改革	3. 大学の教育 改革	・地域社会との連携強化		佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) ②押野副学長 五月女学部長 須藤学務局長 小山図書館長	総務・人事課 広報課 柏事務課 ⑥地域・産学連携室 ⑥大学改革・IR推進課 図書課		・地域研究活動の継続実施 ・私立大学等改革総合支援事業タイプ 3「プラットーム型」・行政を持ち、民間・大の連携を変更がある情報を表現のでは、大学コンの連携のでは、大学の図書をのでは、大学の図書をのでは、大学の図書を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	・地域研究活動の継続実施 ・私立大学等改革総合支援事業タイプ 3「プラットフットフット」 ・代田区内の教育機関・行政・民間 ・大学コンソーシアム東 葛参加 ・大学コンソーシアム東 葛参加 ・大学コンソーシアム東 高参加 ・大学コンリー・大学 の連携 ・地域校証 ・他大学との図書館相互介の促進、地域化 ・高楽市による山田方谷150周年祭への協力 ・連携協市との連携のあり方についての方針策定	・地域研究活動の継続実施 ・私立大学等改革総合支援事業タイプ 3「プラットフォーム型」・一百 ・大田区内の教育機関・行政・民間 ・大学は大田・大学は ・大学は ・地域の連携で、 ・地域の経 ・地域のと ・地域の図書館相互のので ・地域の図書館との合同企画等連携 強化	・地域研究活動の継続実施 ・私立大学等改革総合支援事業タイプ 3「プラットフォーム型」申請、 千代田区内の教育機関・行政・民間 との連携模索と参加 ・大学コンソーシアム東葛参加大学と の連携で完活動に関する情報発信状況 の再検証 ・他大域の図書館相互利用の促進、 地域の図書館との合同企画等連携 強化	・地域研究活動の継続実施 ・私立大学等改革総合支援事業タイプ 3「プラットフォーム型」申請、 千代田区内の教育機関・行政・民間 との連携模索と参加 ・大学コンソーシアム東葛参加大学と の連携 ・地域研究活動に関する情報発信状況 の再検証 ・他大学との図書館相互利用の促進、 地域の図書館との合同企画等連携 強化
		①共同FD年間参加者数	年延べ2名以上					年延べ2名以上	年延べ2名以上	年延べ2名以上	年延べ2名以上
		②共同SD年間参加者数	年延べ3名以上				年延べ3名以上	年延べ3名以上	年延べ3名以上	年延べ3名以上	年延べ3名以上
		③学生共同ボランティ ア参加者数	年延べ6名以上				年延べ6名以上	年延べ6名以上	年延べ6名以上	年延べ6名以上	年延べ6名以上
		④「千代田学」採択件数	隔年1件以上				隔年1件以上	隔年1件以上	隔年1件以上	隔年1件以上	隔年1件以上
		⑤千代田コンソ地域 イベントへの地域 住民参加者数	延べ70名以上				延べ70名以上	延べ70名以上	延べ70名以上	延べ70名以上	延べ70名以上
		⑥千代田コンソ地域 向け共同公開講 座実施件数 ⑦地域産業界との連携	隔年1回以上				隔年1回以上	隔年1回以上	隔年1回以上	隔年1回以上	隔年1回以上
		が は	5年間で1企業以上				5年間で1企業以上	5年間で1企業以上	5年間で1企業以上	5年間で1企業以上	5年間で1企業以上
		参加型教育プログ ラム実施件数 ⑨共同IRでの分析・	年1回				1回	1回 Æ275 P.N. L.	1回	1回	1回
		公表項目数	年3項目以上				年3項目以上	年3項目以上	年3項目以上	年3項目以上	年3項目以上
		⑩アウトカム指標 i 連集事業参加者									
		i 連携事業参加者 の満足度	前年度比5%増				前年度比5%増	前年度比5%増	前年度比5%増	前年度比5%増	前年度比5%増
		ii 単位互換提供科 目による実履修科 目割合	前年度比5%増				前年度比5%增	前年度比5%増	前年度比5%增	前年度比5%增	前年度比5%増
		①災害時連携体制の検討 または事業実施回数	年1回以上				年1回以上	年1回以上	年1回以上	年1回以上	年1回以上

分	·##	主要課題	最終	担当理事等	推進部課	関係会議等			5カ年の年次推進計画		
71	· 独	土安休旭	目標値	(◎: 主担当)	(◎: 主担当)		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	3. 大学の教育 改革	・研究内容のレベル維持		◎佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) 押野副学長 五月女学部長 各研究科長	◎大学改革・IR推進課 ◎教務課	・専攻主任会議 ・研究科委員会	・文学研究科におけるダブルディ グリー制度の検証と見直し ・大学院生の研究成果公表数向上策の 見直し ・研究科の研究内容のレベル維持・ 見直し	・大学院生の研究成果公表数向上策の 見直し・研究科の研究内容のレベル維持・ 見直し	・大学院生の研究成果公表数向上策の 見直し・研究科の研究内容のレベル維持・ 見直し	・大学院生の研究成果公表数向上策の 見直し ・研究科の研究内容のレベル維持・ 見直し	・大学院生の研究成果公表数向上策の 見直し ・研究科の研究内容のレベル維持・ 見直し
		KPI ・教職採用者数の維持		佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) ②押野副学長 五月女学部長 須藤学務局長 矢持センター長	◎教職課程センター		・完成年度を迎えた教職課程新カリキュラムの検証、採用選考に係る情報収集と支援講座への反映・データを活用した自己点検システムの強化・私立学校教員採用に関する情報収集・対策実施・教育力向上のための紀要刊行	・採用選考に係る情報収集 ・支援講座改善策検討 ・データを活用した自己点検システム の強化 ・私立学校教員採用に関する情報収集 ・対策実施 ・教育力向上のための紀要刊行	・採用選考に係る情報収集と支援講座 への反映 ・データを活用した自己点検システム の強化 ・私立学校教員採用に関する情報収集 ・対策実施 ・教育力向上のための紀要刊行 ・小学校教員養成特別プログラム募集 強化	 ・採用選考に係る情報収集と支援講座への反映 ・データを活用した自己点検システムの強化 ・私立学校教員採用に関する情報収集・対策実施 ・教育力向上のための紀要刊行・大学院文学研究科歴史文化学専攻教職課程検証 	・採用選考に係る情報収集と支援講座 への反映 ・データを活用した自己点検システム の強化 ・私立学校教員採用に関する情報収集 ・対策実施 ・教育力向上のための紀要刊行
		KPI ①公立教員採用試験 合格者数	20名 (文18・政2)				20名	20名	20名	20名	20名
		・産学連携の推進		佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) ②押野副学長 五月女学部長 須藤学務局長	◎地域・産学連携室 大学改革・IR推進課 教務課		・提携企業との連携継続実施 ・共同研究等外部研究資金獲得の推進 ・株式会社フォーバルとの協定締結 ・東神開発との再協議	・提携企業との連携継続実施・共同研究等外部研究資金獲得の推進	・提携企業との連携継続実施・共同研究等外部研究資金獲得の推進	・提携企業との連携継続実施・共同研究等外部研究資金獲得の推進	・提携企業との連携継続実施・共同研究等外部研究資金獲得の推進
		KPI 提携継続企業数									
	4. 研究活動の 推進	・科研費採択件数の向上		◎佐藤常任理事(学長) 江藤理事(学部長) 海岸理事(学部長) 押野副学長 五月女学部長 各研究科長	企画・財務課 ◎大学改革・IR推進課 教務課		・科研費獲得件数の増加・支援体制の 再検証 ・ペンチマーク校との採択率比較実施 ・教員へのガイダンス実施	・科研費獲得件数の増加・支援体制の 再検証 ・ベンチマーク校との採択率比較実施 ・教員へのガイダンス実施	・科研費獲得件数の増加・支援体制の 再検証 ・ベンチマーク校との採択率比較実施 ・教員へのガイダンス実施 ・N'2030Plan最終目標達成に向けた 具体策の検討	・科研費獲得件数の増加・支援体制の 再検証 ・ベンチマーク校との採択率比較実施 ・教員へのガイダンス実施	・科研費獲得件数の増加・支援体制の 再検証 ・ベンチマーク校との採択率比較実施 ・教員へのガイダンス実施
		KPI 科研費採択専任 教員数/専任教員数	_				26. 00%	26. 00%	27. 00%	27. 00%	27. 00%
Ⅱ. 二松学舎大		・奨学金制度の見直し		佐藤常任理事(学長) ②押野副学長 須藤学務局長	◎学生支援課		・新たな奨学金制度の導入	・新たな奨学金制度の効果検証	・新たな奨学金制度の効果検証	・新たな奨学金制度の効果検証	・新たな奨学金制度の効果検証
デ・大学院の 教育改革		KPI ①学生支援度	65. 0				65	65	65	65	65
		・課外活動充実策の抜本的 見直し		佐藤常任理事(学長) ◎須藤学務局長	◎学生支援課		・学生会と連携し、意見交換を継続実施し、見直しが必要な部分について検証し、必要に応じて、改善策を検討・父母会等の課外活動活性化に資する助成利用を定期的に保証人及び学生に通知し、活動促進に繋げる。	・学生会と連携し、意見交換を継続実施し、見直しが必要な部分について検証し、必要に応じて、改善策を検討・父母会等の課外活動活性化に資する助成利用を定期的に保証人及び学生に通知し、活動促進に繋げる。	・学生会と連携し、意見交換を継続実施し、見直しが必要な部分について検証し、必要に応じて、改善策を検討・父母会等の課外活動活性化に資する助成利用を定期的に保証人及び学生に通知し、活動促進に繋げる。	・学生会と連携し、意見交換を継続実施し、見直しが必要な部分について検証し、必要に応じて、改善策を検討・父母会等の課外活動活性化に資する助成利用を定期的に保証人及び学生に通知し、活動促進に繋げる。	・学生会と連携し、意見交換を継続実施し、見直しが必要な部分について検証し、必要に応じて、改善策を検討・父母会等の課外活動活性化に資する助成利用を定期的に保証人及び学生に通知し、活動促進に繋げる。
		KPI ①学生支援度	65. 0				65	65	65	65	65
	5.	・就職率の向上、維持		佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) 高神理事 ⑤押野事学長 五月藤学務局長 小久保センター長	教務課 ◎キャリアセンター	・全学教務委員会 ・教務委員会 ・キャリアセンター 会議	・キャリアセンター認知度向上、活用 推進 ・学生満足度の高いキャリア支援の 実施 ・教員との協働によるキャリア支援の 実施 ・低学年へのアプローチ強化 ・就職実績等の対外アピール	 キャリアセンター認知度向上、活用推進 学生満足度の高いキャリア支援の実施 教員との協働によるキャリア支援の実施 低学年へのアプローチ強化 就職実績等の対外アピール 	・キャリアセンター認知度向上、活用 推進 ・学生満足度の高いキャリア支援の 実施 ・教員との協働によるキャリア支援の 実施 ・低学年へのアプローチ強化 ・就職実績等の対外アピール	・キャリアセンター認知度向上、活用 推進 ・学生満足度の高いキャリア支援の 実施 ・教員との協働によるキャリア支援の 実施 ・低学年へのアプローチ強化 ・就職実績等の対外アピール	 キャリアセンター認知度向上、活用推進 学生満足度の高いキャリア支援の実施 教員との協働によるキャリア支援の実施 低学年へのアプローチ強化 就職実績等の対外アピール
	学生支援	①教育成果可視化 度合	2017年度比 文257.1% 政243.8%				2017年度比 文:257. 1% 政:243. 8%	2017年度比 文:257. 1% 政:243. 8%	2017年度比 文:257. 1% 政:243. 8%	文: 257.1%	文: 257.1%
		KPI ②就職率	文96.0% 政96.5%				(文・政)95.6%	(文・政)95.7%	(文・政)95.8%	(文・政)95.9%	(文・政)95.9%
		③公務員就職者数	35名				33名	33名	33名	33名	33名
		④上場企業就職率	20.0%				20. 00%	20. 00%	20. 00%		
		・学生情報(教育成果)の 管理、活用推進		佐藤常任理事(学長) ②押野副学長 須藤学務局長 小久保センター長	大学改革・IR推進室 ②教務課 ②学生支援課 教職課センター キャリア管理室 教学DX推進室		・中間評価を受けた新たな保護者ポータル運用検証 ・新LMSの学生ポートフォリオ機能の導入 ・次期基盤システムの完全導入 ・LMSの利用促進、課題確認 ・ポートフォリオ・ディブロマサプリメントについて教学DXと連携して使用活性化のロードマップを策定	・中間評価を受けた新たな保護者 ポータル運用検証 ・新LMSの学生ポートフォリオ機能の 導入 ・次期基盤システムの完全導入 ・LMSの利用促進、課題確認	 ・中間評価を受けた新たな保護者ポータル運用検証 ・新LMSの学生ポートフォリオ機能の導入 ・次期基盤システムの完全導入 ・LMSの利用促進、課題確認 	・中間評価を受けた新たな保護者 ポータル運用検証 ・新LMSの学生ポートフォリオ機能の 導入 ・次期基盤システムの完全導入 ・LMSの利用促進、課題確認	・中間評価を受けた新たな保護者ポータル運用検証 ・新LMSの学生ポートフォリオ機能の 導入 ・次期基盤システムの完全導入 ・LMSの利用促進、課題確認
		KPI ①教育成果可視化度合	2017年度比 文257.1% 政243.8%	5			2017年度比 文: 257. 1% 政: 243. 8%	2017年度比 文: 257. 1% 政: 243. 8%		文: 257.1%	文: 257.1%

分	粨	主要課題	最終	担当理事等	推進部課	関係会議等			5カ年の年次推進計画		
Я	X	主安誅題	目標値	(◎: 主担当)	(◎: 主担当)		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
		・外国人留学生在籍者数の 安定的確保、増員		◎佐藤常任理事(学長) 西畑常任理事 江藤理事 高岸理事(学部長) 押野副学長 五月女学部長	◎入試課 国際交流センター	・大学運営会議 ・学生募集広報戦略 検討会議	・外国人留学生確保のための広報検討 と前年度の検証 ・大学院留学生確保のための戦略の 検証と見直し ・日本語学校へのアプローチ方法の 前年度検証と見直し	・外国人留学生確保のための広報検討と前年度の検証 ・大学院留学生確保のための戦略の 検証と見直し ・日本語学校へのアプローチ方法の 前年度検証と見直し	・外国人留学生確保のための広報検討と前年度の検証 ・大学院留学生確保のための戦略の 検証と見直し ・日本語学校へのアプローチ方法の 前年度検証と見直し	・外国人留学生確保のための広報検討と前年度の検証 ・大学院留学生確保のための戦略の 検証と見直し ・日本語学校へのアプローチ方法の 前年度検証と見直し	・外国人留学生確保のための広報検討と前年度の検証 ・大学院留学生確保のための戦略の 検証と見直し ・日本語学校へのアプローチ方法の 前年度検証と見直し
		①国際政治経済学部留 学生入学定員充足率	2017年度比 150%				150%	150%	150%	150%	150%
		(KPI ②国際政治経済学研究科 留学生入学者数	8名				8	8	8	8	8
		③国際日本学研究科	17名				17	17	17	17	17
	6. 子 る で 者 の 確 者 で 表 返 減 少	・新入試制度への対応		◎佐藤常任理事(学長) 江藤理事 高岸理事(学部長) 押野副学長 五月女学部長	◎入試課	·大学運営会議 ·学生募集広報戦略 検討会議	・基礎学力型選抜等への対応と改革総合支援事業に対応した入試制度の検討・実施・受験生増に向けた前年度入試制度・広報戦略が検証・情争存と見極が表現では、でロ学規が、主要を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	・基礎学力型選抜等への対応と改革総合支援事業に対応した入試制度の検討・実施・受験生増に向けた前年度入試制度・広報戦略の検証・様報共有と見直し・ゼロ学期対策・低学年向上にも拡充と、イベント来場者満足度向上に向けたプログラムの工夫	・基礎学力型選抜等への対応と改革総合支援事業に対応した入試制度の検討・実施・受験生増に向けた前年度入試制度・広報戦略の検証・低学年人と見直し、ゼロ学期対策・低学年向上にと、イベント来場者満足度向けたプログラムの工夫	・基礎学力型選抜等への対応と改革総合支援事業に対応した入試制度の検討・実施・受験生増に向けた前年度入試制度・広報戦略の検証・様子有と見直し・ゼロ学期対策・低学年向上にも拡充と、イベント来場者満足度向上に向けたプログラムの工夫	・基礎学力型選抜等への対応と改革総合支援事業に対応した入試制度の検討・実施・受験生増に向けた前年度入試制度・広報戦略の検証・情報共有と見直し・ゼロ学期対策等低学年向上に向けたプログラムの工夫
		①志願者倍率	5. 5倍				文:5.1 政:5.0	文:5.1 政:5.0	文:5.1 政:5.0	文:5.1 政:5.0	文:5.1 政:5.0
		KPI ②偏差値	文57.6 . 政				文57.5、政50.5	文57.5、政50.5	文57.5、政50.5	文57.5、政50.5	文57.5、政50.5
		③入学定員充足率	53. 2 115. 0%				114. 90%	114. 90%	114. 90%	114. 90%	114. 90%
		07.77.27.01					・学生の居場所つくりの取り組み 「学生ひろば(仮)」を試験運用	・「学生ひろば(仮)」の検証後の施策	・新たな施策の運用・休退学者数の動的フォロー・分析と	・新たな施策の運用	・新たな施策の運用
Ⅱ. 二松学舎大 学・大学院の 教育改革		・退学率の低減		押野副学長 ⑤須藤学務局長	◎学生支援課	・全学学生委員会 ・学生委員会	・子生ののは(収)」で試験連用 (満足度向上とリンク) ・休退学者数の動的フォロー・分析と 改善策の検証 ・こころとからだの相談窓口の運用と 検証	・休退学者数の動的フォロー・分析と 改善策の検証 ・こころとからだの相談窓口の運用と 検証	・ 休返子有級の動的フォロー・ガ机と 改善策の検証 ・ こころとからだの相談窓口の運用と 検証	・休退学者数の動的フォロー・分析と 改善策の検証 ・こころとからだの相談窓口の運用と 検証	・休退学者数の動的フォロー・分析と 改善策の検証 ・こころとからだの相談窓口の運用と 検証
		①収容定員充足率 ②学生支援度	120. 8% 70. 0				119. 00% 65	119. 00% 66	119. 00% 67	119. 00% 68	119. 00% 70
		KPI ③DP達成度 ④退学率	2017年度比 文:150.5% 政:131.8% 文2.25% 政2.33%				2017年度比 文: 135, 5% 政: 122. 0% 文: 2. 50% 政: 2. 50%	2017年度比 文:141.0% 政:125.5% 文:2.50% 政:2.50%	2017年度比 文: 146.0% 政: 128.5% 文: 2.50% 政: 2.50%	2017年度比 文:150.5% 政:131.8% 文:2.50% 政:2.50%	2017年度比 文: 150. 5% 政: 131. 8% 文: 2. 50% 政: 2. 50%
	7. キャンパス 整備	・九段キャンパスの整備・拡充 ・柏キャンパスの整備・維持		五十嵐常任理事 ②西畑常任理事 佐藤常任理事(学長)	総務・人事課 柏事務課 ◎企画・財務課	・理事会 ・常任理事会 ・政策会議 ・キャンパス整備 委員会	・近隣不動産物件情報の収集 ・九段5号館各テナントとの交渉 実施、段階的整備の実施 ・九段6号館(BCプラザ)の改修実施 ・柏キャンパスの法的課題整理 ・150周年記念事業の検討	・近隣不動産物件情報の収集 ・九段5号館各テナントとの交渉 実施、段階的整備の実施 ・九段6号館の利用開始 ・柏キャンパスの法的課題の解消 ・150周年記念事業の準備	・近隣不動産物件情報の収集 ・九段5号館各テナントとの交渉 実施、段階的整備の実施 ・柏キャンパスの整備 ・150周年記念事業の実施	・近隣不動産物件情報の収集 ・九段5号館各テナントとの交渉 実施、段階的整備の実施 ・柏キャンパスの整備	・近隣不動産物件情報の収集 ・九段5号館各テナントとの交渉 実施、段階的整備の実施 ・柏キャンパスの整備
		KPI ①学生支援度	65. 0				57. 5	57. 5	57. 5	57. 5	
	8. 図書館機能 の整備	・附属図書館(九段・柏)の 蔵書精査		◎押野副学長 小山図書館長	◎図書課	・図書委員会	・蔵書資料の重複調査及び除籍 ・データベース、電子をジャナルの 見直し、電子書籍の充実 ・新学科の資料整備 ・所蔵資料の電子化及び公開 ・大学高専機能強化支援事業申請の 検討に合わせた資料整備	・蔵書資料の重複調査及び除籍 ・データベース、電子ジャナルの 見直し、電子書籍の充実 ・所蔵資料の電子化及び公開 ・大学高専機能強化支援事業申請の 検討に合わせた資料整備	・蔵書資料の重複調査及び除籍 ・データベース、電子ジャナルの 見直し、電子書籍の充実 ・所蔵資料の電子化及び公開 ・大学高専機能強化支援事業申請の 検討に合わせた資料整備	・蔵書資料の重複調査及び除籍 ・データベース、電子ジャナルの 見直し、電子書籍の充実 ・所蔵資料の電子化及び公開 ・大学高専機能強化支援事業申請の 検討に合わせた資料整備	・蔵書資料の重複調査及び除籍・データベース、電子ジャナルの見直し、電子書籍の充実・所蔵資料の電子化及び公開
		KPI 除籍	_				1500冊	1500冊	1000冊	1000冊	1000冊
	10. DXの推進	・新教学システムの活用・推進		佐藤常任理事(学長) 武山理事 ②押野副学長 須藤学務局長	大学改革・IR推進課 ②教務課 ③学生支援課 教職支援程センター 就職支援課 情報システスト管理室 教学DV推進室		教務システムの導入結果の検証教学DXと連携してLMSの内容検証BCPの実施シミュレーション	・システムの検証結果を踏まえた改善・LMSの検証結果を踏まえた改善	・システムのカスタイズ ・LMSのカスタマイズ	・システムのカスタイズ ・LMSのカスタマイズ	・システムのカスタイズ ・LMSのカスタマイズ
皿. 附属高校の教育改革	1. 教育改革	・ 自校教育の推進		五十嵐常任理事 ⑤鵜飼理事(附属校長) 七五三理事(柏校長)	◎附属高校事務室	· 附属高会議 · 学力行育成 · 学生链系统 · 学生链系统 · 生国語務 · 生国語務 · 生生的 · 生生的 · 生生的 · 生生的 · 生生的 · 生生的 · 生生的 · 生生的 · 生生的	・建学の精神の継承(「論語」教育、 『私の論語』作成) ・「今週の論語」継続実施・検証 ・特色ある教育活動の検証後実施 ・遠隔授業の一部実施	・建学の精神の継承(「論語」教育、 『私の論語』作成) ・「今週の論語」継続実施・検証 ・特色ある教育活動の検証後実施 ・遠隔授業の一部実施	・建学の精神の継承(「論語」教育、 『私の論語』作成) 「今週の論語」継続実施・検証 ・特色ある教育活動の検証後実施 ・遠隔授業の一部実施	・建学の精神の継承(「論語」教育、 『私の論語』作成) ・「今週の論語」継続実施・検証 ・特色ある教育活動の検証後実施 ・遠隔授業の一部実施	・建学の精神の継承(「論語」教育、 『私の論語』作成) ・「今週の論語」継続実施・検証 ・特色ある教育活動の検証後実施 ・遠隔授業の一部実施
		KPI ①生徒満足度 ②保護者満足度	92. 0% 95. 0%				90. 00% 92. 00%	90. 00% 92. 00%	90. 00% 92. 00%	90. 00% 92. 00%	90. 00% 92. 00%

分割	F	主要課題	最終	担当理事等	推進部課	関係会議等			5カ年の年次推進計画		
77'9	視	土安酥起	目標値	(②: 主担当)	(◎: 主担当)	以除云腰守	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
		・新大学入試制度への対応 ・難関大学への進学実績向上 ・生徒平均学力の向上 ・二松学舎大学への安定的 進学者数の維持	国公立5.5%	◎鵜飼理事(附属校長) 七五三理事(柏校長)	◎附属高校事務室	・附属語の ・附属語の ・附属語の ・対定語の ・学生英語の ・学生英語の ・一、 ・教企 ・教企 ・教企 ・教企 ・教企 ・教企 ・教企 ・教企	・進学講座「学び舎」の実施、検証 ・英語4技能の育成(英検2級・準2級 合格者増)検証 ・思考カ・判断力・表現力育成 ・GMARCH30プランの実行・検証 ・指導体制の検証・見直し、特進 クラスの強化 ・生徒個への停習到達度の把握と 改善のの応用 ・二松学の学習、連携の推進 ・放課後学習支援事業の実施・充実	・進学講座「学び舎」の実施、検証 ・英語4技能の育成(英検2級・準2級 合格者増)検証 ・思考力・判断力・表現力育成 ・問MARCH30ブランの実行・検証 ・指導体制の検証・見直し、特進 クラスの強化 ・生徒個々の学習到達度の把握と 改善のの応用 ・二、なので用 ・二、なのでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	・進学講座「学び舎」の実施、検証 ・英語4技能の育成(英検2級・準2級 合格者増)検証 ・思考力・判断力・表現力育成 6MARCH30ブランの実行・検証 ・指導体制の検証・見直し、特進 クラスの強化 ・生徒個々の学習到達度の把握と 改善のの応用 ・二、公のは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	・進学講座「学び舎」の実施、検証 ・英語4技能の育成(英検2級・準2級 合格者増)検証 ・思考力・判断力・表現力育成 ・間ARCH30プランの実行・検証 ・102プランの実行・検証 ・指導体制の検証・見直し、特進 クラスの強化 ・生徒個々の空習到達度の把握と 改善の成用 ・二、公のに用 ・二、なのは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	・進学講座「学び舎」の実施、検証 ・英語4技能の育成(英検2級・準2級 合格者増・判断力・表現力育成 ・関MRCH30プラン及び再動専 103プランの実行・検証 ・指導体制の検証・見直し、特進 クラスの強化 ・生徒個々の学習到達度の把握と 改善本の合用 ・二松一ののに用 ・二松一の大学進学者向け「挙び」 のコまりである。 ・放課後学習支援事業の実施・充実
	1.	(T)進学実績	早慶上理6.8% GMARCH22.8%				GMARCH30名	GMARCH30名	GMARCH30名	GMARCH30名	GMARCH30名
Ⅲ. 附属高校の教 育改革	教育改革	②親大学進学者割合 ・生徒募集力の強化、 入学定員管理	20.0%	◎鵜飼理事(附属校長) 七五三理事(柏校長)	◎附属高校事務室	· 附属高校改革 検討会議 · 入試広報部 · 生徒募集戦略会議	20.00% ・出願基準等の検討による入学定員管理の徹底 ・「新しい広報」の検証後の実施 (オンライン見学会、個別相談、授業公開等の継続) ・新特待生制度の実施、検証 ・各種説明会等の改善(継続) ・本校のニーズを生かした募集活動の実施	20.00% ・出願基準等の検討による入学定員管理の徹底 ・「新しい広報」の検証後の実施(オンライン見学会、個別相談、授業公開等の継続)・新特待生制度の実施、検証・各種説明会等の改善(継続)・本校のニーズを生かした募集活動の実施	20.00% ・出願基準等の検討による入学定員管理の徹底 ・「新しい広報」の検証後の実施 (オンライン見学会、個別相談、授業公開等の継続) ・新特待生制度の実施、検証 ・各種説明会等の改善(継続) ・本校のニーズを生かした募集活動の実施	20.00% ・出願基準等の検討による入学定員管理の徹底 ・「新しい広報」の検証後の実施(オンライン見学会、個別相談、授業公開等の継続)・新特待生制度の実施、検証・各種説明会等の改善(継続)・本校のニーズを生かした募集活動の実施	20.00% ・出願基準等の検討による入学定員管理の徹底 ・「新しい広報」の検証後の実施 (オンライン見学会、個別相談、授業公開等の継続) ・新特待生制度の改善(継続) ・ 本校のニーズを生かした募集活動の実施
月以半		①志願者倍率	2. 0倍				2. 2倍	2. 2倍	2. 2倍	2. 2倍	2. 2倍
		②偏差値	進学54.5 特進61.0				進学52.0、特進58.0	進学52.0、特進58.0	進学52.0、特進58.0	進学52.0、特進58.0	進学52.0、特進58.0
		KPI ③生徒満足度 ④保護者満足度	92. 0% 95. 0%				90. 00% 92. 00%	90. 00% 92. 00%	90. 00% 92. 00%	90. 00% 92. 00%	90. 00% 92. 00%
		⑤学校興味度 ⑥リピーター率	1400組 5.0%				1400組 5.00%	1400組 5,00%	1400組 5.00%	1400組 5,00%	1400組 5.00%
	2. 生徒支援	・生徒、保護者満足度の向上	0.070	◎鵜飼理事(附属校長) 七五三理事(柏校長)	◎附属高校事務室	・附属高校改革 検討会議 ・企画運営会議	・検証後の「新しい学校生活」の実施 ・遠隔授業の継続実施 ・検証後の在校生への新特待生制度の 実施	・検証後の「新しい学校生活」の検証 ・遠隔授業の検証 ・検証後の在校生への新特待生制度の 検証	・検証後の「新しい学校生活」の検証・遠隔授業の検証・検証後の在校生への新特待生制度の検証	・検証後の「新しい学校生活」の検証 ・遠隔授業の検証 ・検証後の在校生への新特待生制度の 検証	・検証後の「新しい学校生活」の検証 ・遠隔授業の検証 ・検証後の在校生への新特待生制度の 検証
		KPI ①生徒満足度	92.0%				90.00%	90.00%	90. 00%	90.00%	90.00%
	3. キャンパス 整備	・教育環境の整備、拡充	95.0%	五十嵐常任理事 ②西畑常任理事 鵜飼理事(附属校長) 七五三理事(柏校長)	企画・財務課 ②附属高校事務室	・キャンパス整備 委員会 ・企画運営会議 ・体育科 ・生徒指導部	92.00% ・九段校舎の施設拡充策の検討 ・校舎経年劣化に伴う補修工事の実施 ・柏グラウンドの設備充実策実施 (雨天練習場の整備検討を含む) ・校舎照明LED化の推進(体育室)	92.00% ・九段校舎の施設拡充策の検討 ・校舎経年劣化に伴う補修工事の実施 ・柏グラウンドの設備充実策実施 (雨天練習場の整備検討を含む) ・校舎照明LED化の推進 (教室・共用部分)	92.00% ・九段校舎の施設拡充策の検討 ・校舎経年劣化に伴う補修工事の実施 ・柏グラウンドの設備充実策実施 ・柏グラウンドの設備充実策全協 (雨天練習場の整備検討を含む) ・校舎照明LED化の推進(職員室等) ・PC教室次期リプレースに向けての 検証・検討	92.00% ・九段校舎の施設拡充策の検討 ・校舎経年劣化に伴う補修工事の実施 ・柏グラウンドの設備充実策実施 ・柏グラウンドの設備充実策実施 (雨天練習場の整備検討を含む) ・PC教室次期リプレースに向けての 検証・検討	92.00% ・九段校舎の施設拡充策の検討 ・校舎経年劣化に伴う補修工事の実施 ・柏グラウンドの設備充実策実施 (雨天練習場の整備検討を含む) ・PC教室次期リブレースに向けての 検証・検討
		KPI ①生徒満足度 ②保護者満足度	92. 0% 95. 0%				90. 00% 95. 00%	90. 00% 95. 00%	90. 00% 95. 00%	90. 00% 95. 00%	90. 00% 95. 00%
	1. 教育改革	・自校教育の推進		五十嵐常任理事 ⑤七五三理事(柏校長) 鵜飼理事(附属校長)	◎柏中高事務室	・附計 を ・	「論語」による人間形成の実践 ・中学校=道徳性の涵養 ・高校=人間力向上	「論語」による人間形成の実践 ・中学校=道徳性の涵養 ・高校=人間力向上	「論語」による人間形成の実践 ・中学校=道徳性の涵養 ・高校=人間力向上	「論語」による人間形成の実践 ・中学校=道徳性の涵養 ・高校=人間力向上	「論語」による人間形成の実践 ・中学校=道徳性の涵養 ・高校=人間カ向上
IV. 附属柏中学 校・高校の教育改革		・難関大学への進学実績向上 ・生徒平均学力の向上 ・二松学舎大学への安定的 進学者数の維持 ・グローバル人材育成に 重点を置く「学び」		◎七五三理事(柏校長) 鵜飼理事(附属校長)	◎柏中高事務室	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・高校グローバルコース語学研修 実施・検証、オーストラリア長期 留学実施・検証、オーストラリア長期 留学実施・検証 ・高校卒とした学習指導の実施(S特・特進クラス) ・中高6カ年の探求学習の構築と実施・生徒の学カ平均向上策の改善、継続真施・教員の指導実施・教員の継続実施・工松学にの進学率安定化対策継続実施・二松学官の、継続実施・ボートフォリオの継続実施・ボートフォリオの継続実施・放課後学習センター検証・実施・学校推薦型・総合型選抜対策の強化	・留学先の拡大検討 ・英検2級全員合格目標達成の確認 ・中高6カ年の探求学習の継続実施・改善・教員の指導力(ICT含む)向上策の改善、継続実施 ・教員の指導力(ICT含む)向上策の改善、継続実施 ・工松学舎大学への進学率安定化対策と終決事施 ・ボートフォリオの継続実施 ・ボートフォリオの継続実施 ・放課後学習センター検証・実施 ・学校推薦型・総合型選抜対策の強化	・留学先の拡大検討 ・英検2級全員合格目標達成の確認・中高7カ年の探求学習の継続実施・改善・外部模試等の改善・継続実施・教員の指導力(ICT含む)向上策の改善、継続実施・土松学舎大学への進学率安定化対策継続手施・ボートフォリオの継続実施・ボートフォリオの継続実施・放課後学習センター検証・実施・学校推薦型・総合型選抜対策の強化	・留学先の拡大検討 ・英検2級全員合格目標達成の確認 ・中高8カ年の探求学習の継続実施・改善・外部模試等の改善・継続実施・教員の指導力(ICT含む)向上策の改善、継続実施 ・社学学のの進学率安定化対策総決実施 ・ポートフォリオの継続実施 ・ポートフォリオの継続実施 ・ 放課後学習センター検証・実施 ・ 学校推薦型・総合型選抜対策の強化	・留学先の拡大検討 ・英検2級全員合格目標達成の確認・ ・中高9カ年の探求学習の継続実施・ ・中高9カ年の探求学習の継続実施・ ・外部模試等の改善・継続実施・ ・教員の指導力(ICT含む)向上策の 改善、継続実施・ ・二松宗を大学への進学率安定化対策 総大きた・フォリオの継続実施・ポートフォリオの継続実施・ ・が課後学習センター検証・実施・ ・学校推薦型・総合型選抜対策の強化
		①進学実績	国公立8.1% 早慶上理25.7% GMARCH50.1%				国公立3.0%、早慶上理3.0%、 GMARCH20.0%				国公立7.0%、早慶上理5.0%、 GMARCH20.0%
		KPI ②親大学進学者割合	10. 0%				15. 00%	13. 00%	13. 00%	10. 00%	10. 00%
		③学力伸長度合 (中学)	入学時偏差値から+4.5	5			入学時偏差値から+3.5	入学時偏差値から+3.5	入学時偏差値から+3.5	入学時偏差値から+3.5	入学時偏差値から+3.5

	括	十 雷 珊 耶	最終	担当理事等	推進部課	朋友心学生			5カ年の年次推進計画		
分	短	主要課題	目標値	(◎: 主担当)	(②: 主担当)	関係会議等	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
		・生徒募集力の強化		◎七五三理事(柏校長) 鵜飼理事(附属校長)	◎柏中高事務室	・附属高校改革 検討会議 ・校長室会議 ・執行会議等	・高校の臨時定員による生徒募集 ・中高広報活動の強化 ・中学募集対策継続実施 ・戦略的スクールバス運行計画の 実施・見直し ・入試制度見直し・実施による入学 定員管理の徹底	・高校は臨時定員終了後の生徒募集へ 移行 ・中高広報活動の強化 ・中学募集対策継続実施 ・戦略的スクールパス運行計画の 実施・見直し ・入試制度見直し・実施による入学 定員管理の徹底	 高校は臨時定員終了後の生徒募集へ移行 中高広報活動の強化 中学募集対策継続実施 戦略的兄クールバス運行計画の実施・制度見直し・実施による入学定員管理の徹底 	 高校は臨時定員終了後の生徒募集へ移行 中高広報活動の強化 中学募集対策継続実施 戦略的スクールバス運行計画の実施・見直し 入試制度見直し・実施による入学 定員管理の徹底 	・高校は臨時定員終了後の生徒募集へ 移行 ・中高広報活動の強化 ・中学募集対策継続実施 ・戦略的スクールバス運行計画の 実施・見直し ・入試制度見直し・実施による入学 定員管理の徹底
		①志願者倍率	高校:9.97倍 中学:16.18倍	<u> </u>			高校4.50倍、中学6.00倍	高校4.50倍、中学6.00倍	高校4.50倍、中学6.00倍	高校4.50倍、中学6.00倍	高校4.50倍、中学6.00倍
		②偏差値	高校S特: 61.9 中学59.6	9			高校S特62.0、中学53.0	高校S特62.0、中学53.0	高校S特62.0、中学53.0	高校S特62.0、中学53.0	高校S特62.0、中学53.0
		③生徒満足度	高校・中学95.0%	6			高校95%、中学95%	高校95%、中学95%	高校95%、中学95%	高校95%、中学95%	高校95%、中学95%
π,		4保護者満足度	高校・中学95.0%	6			高校95%、中学95%	高校95%、中学95%	高校95%、中学95%	高校95%、中学95%	高校95%、中学95%
N	2.	⑤学校興味度	高校5000名 中学1500名				高校4000名、中学1000名	高校4000名、中学1000名	高校4000名、中学1000名	高校4000名、中学1000名	高校4000名、中学1000名
育改革	1 IC X 1/2	⑥リピーター率	7. 5%				7. 00%	7. 00%	7. 00%	7. 00%	::
		・生徒、保護者満足度の向上		◎七五三理事(柏校長) 鵜飼理事(附属校長)	◎柏中高事務室	· 放本 · 放表 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・特待生制度改善実施の継続 ・二松キャリアデザインプログラムの 継続実施 ・生徒・保護者満足度上昇策の改善、 継続実施 ・ファインウステム・スタデ・イプ・ラスを利用した 生徒指導の継続とPDCAサイクルの 検証 ・生徒面談の充実とかウンセラーの活用	・特待生制度改善実施の継続 ・二松キャリアデザインプログラムの 継続実施 ・生徒・保護者満足度上昇策の改善、 継続実施(満足度調査を中高全学年 毎学期実施) ・ファインシステム・スタディプラスを利用した 生徒指導の継続とPDCAサイクルの 検証 ・生徒面談の充実とカウンセラーの活用	・特待生制度改善実施の継続 ・	・特待生制度改善実施の継続 ・二松キャリアデザインプログラムの 継続実施 ・調査内容の検討・精査を継続 ・ファインシステム・スタディプラスを利用した 生徒指導の継続とPDCAサイクルの 検証 ・生徒面談の充実とカウンセラーの活用	・特待生制度改善実施の継続 ・ 二松キャリアデザインプログラムの継続実施 ・ 調査内容の検討・精査を継続 ・ ファインシステム・スタディプラスを利用した 生徒指導の継続とPDCAサイクルの 検証 ・生徒面談の充実とカウンセラーの活用
		①生徒満足度	高校・中学 95.0%				高校96%、中学96%	高校96%、中学96%	高校96%、中学96%	高校96%、中学96%	高校96%、中学96%
		KPI ②保護者満足度	高校・中学 95.0%				高校96%、中学96%	高校96%、中学96%	高校96%、中学96%	高校96%、中学96%	高校96%、中学96%
	1. 長期 ビジョ ンの推進	・KPI目標数値の達成	33. 0/4	五十嵐常任理事 ②西畑常任理事 菅原理事(事務局長)	◎企画・財務課		・KPIダッシュボード管理システムの 検証・見直し ・ベンチマーク校とのKPI差異の要因 分析実施 ・採用KPI指標の見直し	 ・KPIダッシュボード管理システムの 検証・見直し ・ベンチマーク校とのKPI差異の要因 分析実施 ・採用KPI指標の見直し 	 ・KPIダッシュボード管理システムの 検証・見直し ・ベンチマーク校とのKPI差異の要因 分析実施 ・採用KPI指標の見直し 	 ・KPIダッシュボード管理システムの 検証・見直し ・ベンチマーク校とのKPI差異の要因 分析実施 ・採用KPI指標の見直し 	 ・KPIダッシュボード管理システムの 検証・見直し ・ベンチマーク校とのKPI差異の要因 分析実施 ・採用KPI指標の見直し
		KPI									
		・強固な財務基盤の維持、 向上		◎西畑常任理事 菅原理事(事務局長) 高柳理事	②企画・財務課◎経理課	・理事会 ・常任理事会 ・予算編成会議 ・資金会議	・収入増&支出減対策の実施・収入増加策、各種業務改善・効率化策の継続的提案実施・各ペンチマーク校との学納金比較実施、学則別表の改定	・収入増&支出減対策の実施・収入増加策、各種業務改善・効率化策の継続的提案実施・学納金改定の実施(初年度)	・収入増&支出減対策の実施・収入増加策、各種業務改善・効率化策の継続的提案実施・学納金改定の実施(2年目)	・収入増&支出減対策の実施・収入増加策、各種業務改善・効率化策の継続的提案実施・学納金改定の実施(3年目)	・収入増&支出減対策の実施 ・収入増加策、各種業務改善・効率化 策の継続的提案実施 ・学納金改定の実施(4年目)
		①積立率 ②事業活動収支差額比率	103. 5% 10. 5%				95. 00% 8. 00%	90. 00% 7. 00%	90. 00% 7. 00%	-	-
		KPI ③経常収支差額比率	8. 5%				8.00%	7. 00%	7.00%		
		④教育活動収支差額比率	6. 7%				7. 50%	5. 00%	5.00%	-	-
V. 財務、人材育 成、評価、組 織、広報、そ の他		⑤運用資産余裕比率 ・奨学金制度の整理・体系化	2. 3年	◎西畑常任理事 佐藤常任理事 (学長) 鵜飼理事 (附属校長) 七五三理事 (柏校長) 押野副学長	◎企画・財務課 終理課 大学改革・IR推進課 入試課 学生支援課 附属高校事務室 柏中高事務室	・理事会 ・常子算編成会議 ・政策会議 ・政授会等	2.2年 ・新組入計画の実行 ・奨学金制度全体の効果検証、見直し・新教育研究奨励制度の細則検討 ・ (仮称) 奥村記念奨学制度の検討 ・学費負担軽減措置の検討	2.2年 ・新組入計画の実行 ・奨学金制度全体の効果検証、見直し・新教育研究奨励制度の細則導入 ・(仮称) 奥村記念奨学制度の検討 ・新学費負担軽減措置の導入	2.2年 ・新組入計画の実行 ・奨学金制度全体の効果検証、見直し ・新教育研究奨励制度の細則導入 ・(仮称)奥村記念奨学制度の検討 ・新学費負担軽減措置の導入(2年目)	- 新組入計画の実行 ・奨学金制度全体の効果検証、見直し ・新教育研究奨励制度の細則導入 ・(仮称)奥村記念奨学制度の検討 ・新学費負担軽減措置の導入(3年目)	- 新組入計画の実行 ・ 奨学金制度全体の効果検証、見直し ・ 新教育研究奨励制度の細則導入 ・ (仮称) 奥村記念奨学制度の検討 ・ 新学費負担軽減措置の導入(4年目)
	2. 財務	KPI		◎西畑常任理事	1		・資金運用収入の安定的確保	資金運用収入の安定的確保	・資金運用収入の安定的確保	・資金運用収入の安定的確保	 ・資金運用収入の安定的確保
	₩1 17i	・収入源の多様化と安定的 収入の確保		◎四畑常任埋事 佐藤常任理事 (学長) 鵜飼理事 (附属校長) 七五三理事 (柏校長) 押野副学長	総務・人事課 ◎企画・財務課	・政策会議 ・大学運営会議	- 当年度資金運用計画の策定と運用	・当年度資金運用計画の策定と運用	- 当年度資金運用計画の策定と運用	- 当年度資金運用計画の策定と運用	・当年度資金運用計画の策定と運用
		KPI ①学術成果	学生支援度	<u> </u>			65	65	65	65	65
		・寄付金収入の安定的確保		◎西畑常任理事 佐藤常任理事(学長) 鵜飼理事(附属校長) 七五三理事(柏校長) 武山理事 高柳理事	総務・人事課 ②企画・財務課 附属高校事務室 柏中高事務室	·教育研究振興資金 管理運営委員会	・新組入計画の実行 ・「150周年」記念募金開始に向けて の改善策の検討	・新組入計画の実行・「150周年」記念募金の開始・設置校別寄付金獲得目標の設定検討	・新組入計画の実行・「150周年」記念募金の募集継続・設置校別寄付金獲得目標の設定検討	・新組入計画の実行 ・「150周年」記念募金のフォロー アップ ・設置校別寄付金獲得目標の継続実施	・新組入計画の実行 ・「151周年」記念募金のフォロー アップ ・設置校別寄付金獲得目標の継続実施
		KPI ①在籍者1名あたり寄付金	35907. 2円								
		・財政基盤の維持		◎西畑常任理事 菅原理事(事務局長)	◎企画・財務課	・政策会議 ・資金会議	・効果測定、格付け維持 ・効率的資金運用計画の検討 ・「格付取得の意義」に関する学内 説明会等の開催	・効果測定、格付け維持 ・効率的資金運用計画の検討 ・「格付取得の意義」に関する学内 説明会等の開催	・効果測定、格付け維持 ・効率的資金運用計画の検討 ・「格付取得の意義」に関する学内 説明会等の開催	・効果測定、格付け維持・効率的資金運用計画の検討・「格付取得の意義」に関する学内 説明会等の開催	・効果測定、格付け維持 ・効率的資金運用計画の検討 ・「格付取得の意義」に関する学内 説明会等の開催
		KPI									

	\ see	主要課題	最終	担当理事等 (©: 主担当)	推進部課 (②: 主担当)	関係会議等	5カ年の年次推進計画						
5)類	主要課題	目標値				2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度		
		・二松学舎SD計画の推進		◎五十嵐常任理事 菅原理事(事務局長)	◎総務・人事課	・SD委員会	・体系的なSD計画の実施・検証 ・既存のSD計画を基にキャリア ディベロップメントの制度を検討	・体系的なSD計画の実施・検証 ・既存のSD計画を基にキャリア ディベロップメントの制度を検討	・体系的なSD計画の実施・検証 ・既存のSD計画を基にキャリア ディベロップメントの制度を検討	・体系的なSD計画の実施・検証 ・既存のSD計画を基にキャリア ディベロップメントの制度を検討	・体系的なSD計画の実施・検証 ・既存のSD計画を基にキャリア ディベロップメントの制度を検討		
		KPI SD大学教職員参加率	1009	6			100%	100%	100%	100%	100'		
	3. 教職員の育 成(人事・評 価制度、能	・人事計画の見直し		◎五十嵐常任理事 佐藤常任理事(学長) 菅原理事(事務局長)	◎総務・人事課 ◎教務課 大学改革・IR推進課	・人事計画検討会議 ・教員人事計画検討 会議	・人事異動・採用計画の継続的な 見直し	・人事異動・採用計画の継続的な 見直し	・人事異動・採用計画の継続的な 見直し	・人事異動・採用計画の継続的な 見直し	・人事異動・採用計画の継続的な 見直し		
	力開発・研 修制度)	KPI											
		・人事評価制度の改善		五十嵐常任理事 西畑常任理事 佐藤常任理事(学長) ⑤菅原理事(事務局長)	◎総務・人事課	・人事制度検討 委員会	・評価者に対する評価研修 ・評価の検証と見直し	・評価研修 ・評価の検証と見直し	・評価の検証と見直し	・評価の検証と見直し	・評価の検証と見直し		
1		KPI					ᇂᅏᄥᄝᅟᅕᅶᄽᄝᇬᆎᄜᆈᄡᄁ						
	4. 教職員の勤 務形態	・働き方改革		五十嵐常任理事 佐藤常任理事(学長) ⑨菅原理事(事務局長)	◎総務・人事課	・人事制度検討 委員会	 事務職員、高校教員の時間外勤務 抑制に関する検討 同一労働同一賃金に関する検討 クラブ指導のあり方について検討 改正育児介護体業法への対応 時間休制度の導入 就業に関する規程の整備を検討 	・働き方改革への対応指針の検討(継続)	・働き方改革への対応指針の検討(継続)	・働き方改革への対応指針の検討 (継続)	・働き方改革への対応指針の検討 (継続)		
		KPI											
	5. 組織・権限	・法人ガバナンスの検証、改善		◎五十嵐常任理事 西畑常任理事 佐藤常任理事(学長) 菅原理事(事務局長)	◎総務・人事課	・理事会 ・常任理事会 ・政策会議	・ガバナンス・コードの改訂(第3版) ・ガバナンス・コード点検結果報告書 の作成	・ガバナンス・コード点検結果報告書 の作成	・ガバナンス・コード点検結果報告書 の作成	・ガバナンス・コード点検結果報告書の作成	・ガバナンス・コード点検結果報告書 の作成		
		KPI											
V. 財務、人材育成、評価、組織、広報、その他		・知名度の向上		西畑常任理事 ⑤菅原理事(事務局長) 高栁理事	◎広報課 ◎入試課	・学生募集広報戦略 検討会議 ・広報運営委員会	・前年度等入試広報の費用対効果 検証・見直し ・外部評価機関ランキング等、エビ デンスに基づく広報展開 ・ホームページリニューアルを視野 に、受験生サイトの更新内容を検討	・前年度等入試広報の費用対効果 検証・見値し・外部評価機関ランキング等、エビ デンスに基づく広報展開・新受験生サイトの検証と調整	・前年度等入試広報の費用対効果 検証・見面し ・外部評価機関ランキング等、エビ デンスに基づく広報展開 ・新受験生サイトの検証と調整	・前年度等入試広報の費用対効果 検証・見直し ・外部評価機関ランキング等、エビ デンスに基づく広報展開 ・新受験生サイトの検証と調整	・前年度等入試広報の費用対効果 検証・見直し ・外部評価機関ランキング等、エビ デンスに基づく広報展開 ・新受験生サイトの検証と調整		
	6	KPI ①大学ブランドイメージ調査	49. 3				50	F.1	52	53	5		
	広報	RFI U入子/ フノト 1メーン 調宜	49. 3				・漱石アンドロイドの活用策の検討	・本学への新たな還元方法の		・本学への新たな還元方法の実施	・本学への新たな還元方法の実施		
		・漱石アンドロイドの有効活用策 の検討と PR活動の推進		◎五十嵐常任理事 西畑常任理事	◎広報課 ◎企画・財務課 ◎教務課	・漱石アンドロイド 運営委員会	・漱石アンドロイドに係る広報活動の 検討 ・「漱石アンドロイドサークル」 活動記録冊子の発行	検討・実施 ・漱石アンドロイドに係る広報活動の 実施 ・漱石アンドロイド誕生10周年記念 企画の検討	検討・実施 ・漱石アンドロイドに係る広報活動の 実施・検証 ・漱石アンドロイド企画の実施	・漱石アンドロイドに係る広報活動の実施・検証	・漱石アンドロイドに係る広報活動の実施・検証		
1		KPI											
		・業務の効率化		◎菅原理事(事務局長)	◎総務・人事課 柏事務課 ◎企理課 附属高校事務室 柏中高事務室	・部課長会議	・効率的な組織構築に反映 ・適正な人員配置に反映 ・各部署内での面談による業務改善 ・ワークフロー情報収集等	・効率的な組織構築に反映・適正な人員配置に反映・各部署内での面談による業務改善・ワークフロー検討等	・効率的な組織構築に反映 ・適正な人員配置に反映 ・各部署内での面談による業務改善 ・ワークフロー検討等	・効率的な組織構築に反映 ・適正な人員配置に反映 ・各部署内での面談による業務改善	- 効率的な組織構築に反映 - 適正な人員配置に反映 - 各部署内での面談による業務改善		
		KPI											
	7. その他	・既存施設の維持、改善		五十嵐常任理事 ②西畑常任理事 菅原理事(事務局長)	◎総務・人事課 柏事務課 企画・財務課	・キャンパス整備 委員会	・長期修繕計画に伴う修繕工事の 段階的な実施	・長期修繕計画に伴う修繕工事の 段階的な実施 ・150周年を機とした既存施設等の 大規模修繕等の検討	・長期修繕計画に伴う修繕工事の 段階的な実施 ・150周年を機とした既存施設等の 大規模修繕等の検討	・長期修繕計画に伴う修繕工事の 段階的な実施 ・150周年を機とした既存施設等の 大規模修繕等の検討	・長期修繕計画に伴う修繕工事の 段階的な実施 ・150周年を機とした既存施設等の 大規模修繕等の検討		
		KPI											
		・BCP(事業継続計画)プラン の策定		五十嵐常任理事 ◎菅原理事(事務局長)	◎総務・人事課 ◎柏事務課	・防災対策会議	・危機管理規程に基づく運用体制の 検証・見直し、新たな危機管理 マニュアルの周知徹底 ・規程に基づく柏校舎マニュアルの 検証・見直し ・柏校舎防災対策検証・見直し ・柏校舎への自家発電装置設置	 ・危機管理規程に基づく運用体制の検証・見直し、新たな危機管理マニュアルの周知徹底 ・規程に基づく柏校舎マニュアルの検証・見直し・柏校舎防災対策検証・見直し・白家発電装置効果検証 	・危機管理規程に基づく運用体制の 検証・見直し、新たな危機管理 マニュアルの周知徹底 ・規程に基づく柏校舎マニュアルの 検証・見直し ・柏校舎防災対策検証・見直し	・危機管理規程に基づく運用体制の 検証・見直し、新たな危機管理 マニュアルの周知徹底 ・規程に基づく柏校舎マニュアルの 検証・見直し ・柏校舎防災対策検証・見直し	・危機管理規程に基づく運用体制の 検証・見直し、新たな危機管理 マニュアルの周知徹底 ・規程に基づく柏校舎マニュアルの 検証・見直し ・柏校舎防災対策検証・見直し		
		i e e e e e e e e e e e e e e e e e e e											